

## ○議案についての説明原稿

それでは、2月14日開会の裾野市議会3月定例会に提案いたします議案につきまして、私からご説明申し上げます。

提案いたします議案は、平成31年度裾野市一般会計予算・特別会計予算・事業会計予算の当初予算案件9件、条例案件9件、補正予算案件7件、その他案件2件の合計27件であります。

初めに、平成31年度当初予算案がまとまりましたので、その概要について、ご説明申し上げます。

我が国の景気が緩やかな回復基調にある中、本市における立地企業の業績は堅調に推移しておりますが、大手企業の生産拠点の移転や本年10月の消費税率の引き上げ及びそれに伴う税制改正により、市税を主とする歳入の動向は楽観できるものではないと考えております。

この状況を踏まえ、平成30年度中には身の丈に合った歳出構造への見直しを急務と判断し、全庁を挙げて抜本的に事務事業を見直した結果、平成31年度予算では、一般財源ベースで2億9,050万6千円の事業費の見直しを実施いたしました。

パワーポイントの説明とあわせて、お手元の資料No.2「平成31年度 裾野市歳入歳出予算の概要」をご覧ください。

行財政構造改革の集中取り組み期間の初年度となる今回の予算編成は、「新規事業を原則見合わせ、既存事業は繰り返し見直しを行い、歳入・歳出ともに改革を着実に推進する」ことを念頭に財政規律と健全性維持に配慮しつつ、事業の緊急性・優先度を見極め、施設の新設・改修等、将来を見据えた事業については裾野市が成長していくため歳出を担保する「裾野市の持続的発展」に向けた編成を行いました。

この結果、一般会計の当初予算規模は過去最大の総額213億5,300万円、前年

度より 2.7%の増、特別会計の総額 86 億 1,920 万円と事業会計の総額 26 億 8,379 万 3 千円を合わせた総予算額は 326 億 5,599 万 3 千円となり、前年度当初予算に比べ 4 億 3,676 万 7 千円、1.4%の増となりました。

一般会計における増額の主な要因としましては、深良小学校及び富岡第一小学校の校舎耐震補強・大規模改造事業、富岡第二小学校体育館新築事業、新火葬施設整備事業、企業立地促進事業などの増によるものです。なお、これらの事業については、国や県からの交付金や近隣の自治体との協力などにより実施してまいります。

次に、一般会計当初予算の概要につきましてご説明いたします。2 ページをご覧ください。

まず、歳入につきましては、市税収入が 1 06 億 5,290 万円で、前年度当初予算と比べ、3 億 1,430 万円、3.0%の増、内訳の主なものは、法人市民税は 15 億 140 万円で、企業の業績見込みにより 2 億 8,370 万円、23.3%の増を見込んでおります。

国庫支出金は 2 億 8,325 万 2 千円、10.9%増の 28 億 8,186 万 4 千円、県支出金は 1 億 3,039 万 6 千円、13.0%増の 11 億 3,312 万 7 千円を見込みました。

寄附金は 6,772 万 6 千円で、ふるさと納税による寄附金の増額見込等により前年度比 4,572 万 5 千円の増を見込みました。

市債は、21 億 3,300 万円で、新火葬施設等の整備事業に係る市債の発行の増等により、前年度当初予算と比べ 6 億 6,340 万円、45.1%の増を見込みました。

なお、財政調整基金の取り崩しは 6 億 5,230 万 3 千円で、前年度に比べ 3 億 2,881 万 3 千円、33.5%の減を予定しております。

次に、歳出の主な事業につきまして、総合戦略における施策の基本目標に基づいて整理をいたしました。主要事業の概要につきましてご説明いたします。

4 ページの「平成 31 年度主要事業の概要」をご覧ください。

当市は東京2020オリンピック自転車ロードレースの会場となることから、平成31年度におきましては更なる「シビックプライド」の醸成と未来志向で、裾野市らしい「田園未来都市」を目指し、積極的に市内外に“磨かれた裾野市”を発信してまいります。昨年度の予算編成時において将来投資事業の位置付けを行っていましたが、行財政構造改革では全事業をゼロベースで見直しを行った結果、全てが当市の将来に資するとの考えから、今年度は将来投資事業枠を設けず、主要事業の中に含んだものとしております。なお、主要事業は前年度より23事業減の62事業としています。

主要事業のうち、新規事業として10事業、事業費ベースで1億9,607万2千円、一般財源ベースで4,222万2千円を計上しております。これは、行財政構造改革の集中取り組み期間中は「新規事業を原則見合わせ」としながらも、当市の将来を見据えた、まさに、あるもの磨きには積極的に予算を投下すると考えた結果であり、また、これまでとは違う予算の使い方に大きく舵を切った結果であります。

一方、継続事業につきましては、52事業、将来投資事業枠を廃止した結果、前年度より15事業増加しております。事業費ベースで34億9,953万5千円、一般財源ベースで12億3,808万円を計上しておりますが、既存事業の見直しを積極的に実施し、身の丈に合った事業規模といたしました。

16ページをお開き下さい。主要事業の中から、主な取り組みにつきまして、パワーポイントと合わせてご説明させていただきます。施策の大きな柱1の「住みたいまち裾野のまちづくり“共生”」では、『民間活力を活用した道路整備補助事業』として、当市の持続可能な成長を促し良好な市街地の開発を促進するため、民間事業者による宅地開発に伴う道路の新設・拡幅の一部に対し補助を行います。

18ページをご覧ください。

長泉町との広域的な取り組みとなる『新火葬施設整備事業』では、平成33年度

中の供用開始を目指し、平成31年度は工事の発注、着工を予定しております。

次に、新規事業として、子世帯及び親世帯が同居するための住宅取得または改修工事に対し補助金を交付する『三世代同居支援補助事業』を創設し、三世代同居による家族の支えあいを応援します。

20 ページをご覧ください。

『平松踏切道外1改良事業』では、通学路の交通安全対策及び踏切道の事故対策を図るため、平松地先の踏切幅・歩道設置等に向けた設計調査を実施します。

次に、新規事業になりますが『東名跨道橋撤去事業』として、東名高速道路では初めてとなる「国・高速道路会社・市」の3者負担による跨道橋「東名千福橋」の撤去を行います。

22 ページをご覧ください。

平成32年（2020年）4月25日に、深良用水が通水350周年を迎えることから、『深良用水通水350周年記念事業』の一つとして、記念誌の作成、沿革誌の電子化などを行います。

以上、平成31年度の「まちづくり」につきましては、安心・安全で、より豊かな暮らしへつながる社会基盤整備の、より一層の充実に努めてまいります。

次に、大きな柱2の「すべての起点となるひとづくり“共育”」関連の事業では、まず、『ふるさと納税推進事業』において引き続き新たな返礼品の開発などを進め、寄附額の増額を目指します。

24 ページをご覧ください。

『富岡地区コミュニティセンターリニューアル事業』につきましては、アンケート調査やリニューアル会議などでの利用者の意見を踏まえ、平成31年度は実施設計に入ります。

次に、更なる防災・減災の備えとして、『土砂災害・洪水ハザードマップ作成事業』では、既存のハザードマップを最新の内容に更新するとともに、別々に作成

していた土砂災害と洪水のハザードマップを一つにまとめることで、災害発生時に市民が迅速、的確に避難が行えるよう取組みます。

26 ページをご覧ください。

『放課後児童室運営事業』につきましては、平成31年度より6年生まで受け入れを拡大することから、一部児童室では学校の余裕教室も活用し待機児童ゼロに取り組みます。

次に、『富岡第二小学校体育館新築事業』について平成31年度は工事に入ります。

28 ページをご覧ください。

大きな柱3の「まちやひとを豊かにする産業づくり“共栄”」関連の主な事業では、まず新規事業として、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、誰もが乗降しやすいユニバーサルデザインタクシーの普及を図るため、事業者に対し1台当たり60万円の補助を行う『ユニバーサルデザインタクシー導入補助事業』を平成31年度から平成32年度（2020年）まで実施します。

次に、新規事業として、有害鳥獣捕獲従事者の減少に対応するため、有害鳥獣捕獲に従事するために必要な狩猟免許の取得に要する経費を補助する『有害鳥獣捕獲従事者育成支援事業』を実施します。

30 ページをご覧ください。

地域産業の稼ぐ力を創出するための『屋上緑化推進事業』では、引き続き事業者組織の運営を支援し、販路開拓・拡大等による収益力の強化、緑化作物の特産化・雇用の拡大に取り組みます。

次に、『スポーツツーリズム事業』では、観光産業の振興を図るため、太陽生命ウイメンズセブンズシリーズの誘致に加え、オリンピック後のレガシー作りも踏まえ、首都圏からの距離的優位性や富士山麓の標高を活かし、陸上競技等の準高地トレーニング合宿誘致に取り組みます。

32 ページをご覧ください。

『オリンピック・パラリンピック推進事業』では、東京2020オリンピックの自転車ロードレースに向けて、大会への気運醸成を図るとともに、市民の皆さんと共に記憶に残る大会づくりとレガシー創出に向けて取り組めます。

次に、『移住・就業支援事業』では、東京23区在住者、または東京圏在住で東京23区への通勤者が、市内に移住し、指定の事業所に就職した場合や、「社会性」「事業性」「必要性」の観点を持って取り組む社会的事業を起業した場合に補助を行います。

以上、ただ今ご説明申し上げました平成31年度予算案は、昨今の厳しい財政状況下ではありますが、裾野市が将来的に成長を持続し、裾野市の磨かれた魅力を市内外に発信出来る事業と位置づけ、企業を含めた市民の皆さんと行政が「オールすその」で一丸となり、まるかつて取り組む市の姿勢を示したものであります。

以上が当初予算の概要であります。

次に、第4次総合計画後期基本計画の平成31年度重点政策につきましてご報告申し上げます。

お手元の資料No.7「平成31年度重点政策」をご覧ください。

昨年度は、重点政策として「シビックプライドの向上」を掲げ、当市に暮らす方々が、自ら市の魅力や価値を高めることに関わって、地域を良くしていこうとする意識の高まりを目指しました。

シビックプライドの向上は、市民一人ひとりの意識の醸成によるものであり、継続的に取り組むことが、重要、不可欠です。加えて、東京2020オリンピック自転車ロードレースに向けた機運醸成やその後のレガシー作りに重要な役割があると認識しております。

そのため平成31年度におきましても、引き続き「シビックプライドの向上」を重点政策とし、既に実施している事業を含め、「子育てネットワークの拡充」「学

校・地域・企業等連携の強化」「新しいまちづくり方針の策定」「地域の稼ぐ力の強化」「市民活動支援の強化」「戦略的シティプロモーションの展開」の6つを重点取り組みといたします。

これらの事業を多くの市民の皆さんとともに取り組むことによって、シビックプライドを一層向上させてまいりたいと考えております。

以上が、第4次総合計画後期基本計画の平成31年度重点政策の概要であります。

次に、平成31年度の組織改編につきましてご報告申し上げます。

お手元の資料No.8「組織改編に伴う行政組織新旧対照表」をご覧ください。

平成31年度の組織改編では、業務の効率化、事務の円滑化と課内室の見直しによる組織のスリム化を図ります。

主な改編と致しまして1点目は、課内室については、時限的・特異性のあるものとし、シビックプライド推進室に市民協働室事務を移管、統合し、建設管理課の課内室である道路保全対策室を建設管理課に統合いたします。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに対する庁内推進体制を強化するため、オリンピック・パラリンピック推進室を産業振興課内に設置します。

2点目は、事務事業と行政改革を一体にした行財政構造改革推進のため、ファシリティマネジメント、行財政構造改革を企画部に移管いたします。また、放課後児童室の事務については、子育て支援課から教育総務課に移管します。

昨年度継続協議としました危機管理課につきましては、部に属した組織とし、現在の体制を継続します。

なお、組織改編に伴う、部設置条例の一部改正などの議案を本定例会に上程しております。

以上が平成31年度の組織改編の概要となります。

次に、条例案件の議案のうち、主な議案をご説明申し上げます。

資料No.9「市議会3月定例会議案書」をご覧ください。

第 10 号議案 裾野市犯罪被害者等支援条例を制定することにつきましては、犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等に対する支援の内容や体制等について定めるため、新たに制定するものであります。

次に、第 13 号議案 裾野市議会議員及び裾野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正することにつきましては、公職選挙法の一部を改正する法律の施行により、市議会議員の選挙運動においてもビラを頒布できるようになることから、市長及び市議会議員の選挙運動におけるビラの作成を公費負担とするため、本条例の一部を改正するものであります。

次に、第 16 号議案 裾野市国民健康保険税条例の一部を改正することにつきましては、国民健康保険税の賦課限度額を見直すことについて、裾野市国民健康保険運営協議会の答申を尊重し、本条例の一部を改正するものであります。

その他の条例改正等に関する議案につきましては、関係法令の改正、施行、事業の進捗に伴い、条例を整備、改正するものであります。

条例改正等につきましては、以上であります。

次に、平成 30 年度裾野市一般会計補正予算（第 6 回）につきまして、ご説明申し上げます。

お手元の資料No.11 の「平成 30 年度裾野市一般会計補正予算（第 6 回）の概要」をご覧ください。

今回の補正は、オリンピック・パラリンピック開催準備に伴う増額、決算見込みによる年間所要額の減額、寄附金を活用した施設整備及び国の補助金追加による事業促進に伴う増額により、既定の予算総額から 8,600 万円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 213 億 2,200 万円とするものであります。

今回の補正予算の主な事業についてご説明いたします。

事業の概要をご覧ください。



まず、「東京2020オリンピック・パラリンピックに対する取り組み」としまして、PRとレガシーづくりのため看板・懸垂幕の設置、また、多くのサイクリストが当市へ来訪されることを想定し、休憩に利用できるよう木製駐輪ラックの増設を行うとともに、自転車のメンテナンスに必要な備品を配備したバイシクルピットを設け、快適なサイクリング環境を整えます。

次に、「住みたいまち裾野」まちづくり“共生”として最終処分場の老朽化した汚泥掻寄機（かきよせき）の改修を行います。

また、ふるさと納税などを活用して、図書館の東側外壁の防水改修事業及び照明設備のLED化事業を行い、施設・設備の長寿命化を図るとともに、環境負荷の軽減を図ります。

次に「まちやひとを豊かにする産業づくり“共栄”」として、国からの補助金の追加配分予算を活用し、深良柏木田・西原耕地のほ場整備を推進いたします。

第22号議案から第27議案までは特別会計並びに事業会計の補正予算です。

主に決算見込みに基づき所要額の補正予算額を計上するものです。

以上で、私からの説明を終わります。